

選考方法について：概要

ひとつの課程・学科・コース等に志願です。なお、志願変更は可能です。
入学者選抜学力検査は、原則5教科です。特色検査（実技検査・自己表現検査・面接）を実施する高校もあります。
選考方法は、第1次選考と第2次選考の2種類あります。※詳細は以下で説明

■ 第1次選考

募集人員の**90%まで**、調査書の評定（2・3年）と入学者選抜学力検査の結果をもとに定められた数値算出の方法で選考します。

■ 第2次選考

入学者選抜学力検査の結果と調査書の各教科における**第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価**をもとに定められた数値算出の方法で選考します。

※令和5年度までの第2次選考と違い、内申点が一部、選考の対象となります。

■ 調査書の評定の扱い

| | 英語 | 数学 | 国語 | 理科 | 社会 | 音楽 | 美術 | 保体 | 技家 | 9科 |
|-----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 第2学年 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 32 |
| 第3学年 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 3 | 3 | 3 | 3 | 37  2倍 |
| 第3学年 「主体的に学習に 取り組む態度」 | A | A | A | A | A | B | B | B | B | 23 |

$A = (\text{第2学年の9教科の評定の合計}) + (\text{第3学年の9教科の評定の合計}) \times 2$

※教科ごとの評定合計を一定の範囲（3教科まで、各2倍以内）で重点化する場合があります。

☆ **音楽・美術・保体・技家** の4教科の内申点も重要です。

■ 学力検査の結果の扱い

$B = \text{学力検査（3から5教科）の各教科の得点合計}$

■ 特色検査（実技検査・自己表現検査・面接）の結果の扱い
（一部の高校で求められます）

$C = \text{観点ごとの得点合計}$

※ 多摩高校、横浜サイエンスフロンティア高校など

1次選考について

■ 1次選考（募集人員の90%まで選考）の具体的な計算

A = 調査書の評定の合計

| | 英語 | 数学 | 国語 | 理科 | 社会 | 音楽 | 美術 | 保体 | 技家 | 9科 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 第2学年 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 32 |
| 第3学年 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 34 |

2倍

調査書の評定： $A=32+2 \times 34=100$

100点満点換算： $a=(100/135) \times 100 = 74.07\dots$

B = 学力検査の各教科の得点合計

| 英語 | 数学 | 国語 | 理科 | 社会 | 5科 |
|----|----|----|----|----|-----|
| 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 400 |

学力検査の結果： $B=400$

100点満点換算： $b=400/5 = 80$

※特色検査を実施しない場合の例

○ 各学校で定めた比率（ f 、 g ）に基づき合計数値を算出



• $f=5, g=5$ の例

$$a \times 5 + b \times 5 = 74.07\dots \times 5 + 80 \times 5 = 770.07\dots$$

• $f=4, g=6$ の例

$$a \times 4 + b \times 6 = 74.07\dots \times 4 + 80 \times 6 = 776.29\dots$$

※ f 値と g 値は重要な値です。各高校が学力検査(g)もしくは、内申点(f)のどちらに重きを置いているかはあらかじめ確認しておきましょう。

2次選考について

第2次選考においても調査書が選考資料となります。

調査書の学習の記録における観点別学習状況の評価

- ・第2次選考では、「学びに向かう力」を評価するため、調査書の学習の記録のうち観点別学習状況の評価の「主体的に学習に取り組む態度」を活用する。
- ・中学校における発達の段階を重視する観点から、第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価を次の表により数値に換算。

| 観点別学習状況の評価 | 換算値 |
|------------|-----|
| A | 3 |
| B | 2 |
| C | 1 |

$C =$ (第3学年の9教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価の合計)

第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価のうち、3教科の範囲で1を超え2以下の係数を乗じて、重点化した数値とします。

$c =$ 3年次「主体的に学習に取り組む態度」の合計

| | 英語 | 数学 | 国語 | 理科 | 社会 | 音楽 | 美術 | 保体 | 技家 | 9科 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 第3学年 | A | A | A | A | A | B | B | B | B | 23 |

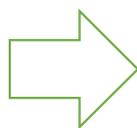
※特色検査を実施しない場合の例

B, C それぞれを100点満点換算

- $b = 400/5 = 80$ ※5教科400取得の場合
- $c = (23/27) \times 100 = 85.18...$

学力検査 b
 $\times g$

調査書 c
 $\times h$



g, h は、それぞれ2以上の整数とし、 $g + h = 10$ を満たすよう各学校が定めます

- $b=8, h=2$ の例

$$b \times 8 + c \times 2 = 80 \times 8 + 85.18... \times 2 = 725.18...$$